



第5号

発行人 吉田 稔
編集人 箕田 京二
発行所 大阪府堺市
区内菅原通四ノ三〇
曙 書 房

○
会員の皆さん、お元気ですか。今回は一つの提案を申します。二月、三月中のよき日を選んで手軽な温泉へ一泊旅行など如何でしょうか。A組をマゾ、B組をサドと区別して投宿するのです。どちらにもつかずの相手次第による好奇心を養いみたい方は又別の組を作っておけばよいでしょう。拙せんで相手が決りますが、誰がどうしようも一切が心のまゝの自由行動、大浴場では裸で会合を行いますから相手の選定や指定も自由です。一人で三人、四人と組むのも自由にしたいたいです。会費は旅費別で千円止りが理想でしょう。とにかく気が一致すれば実現出来る好奇旅行です。又誌上で相談致しますよう。

○
(兵庫・木下吉郎)
御誌の様に私の芸術的・性感をいれさせる雑誌について外にありませんわ。でも女体を責めるの飽きましたの、七月号の女上位特集の様に男のマゾヒストを扱った内容をお願いしたいのです。女には男より残虐性があります。十月号の玲子さんの画「裸身の魔女」など好きですけど、パンツが褲一つで口にズロースでもくわえさせたら尚迫力なと思いますわ。どの雑誌も縛られた女体や責められる裸女ばかり。奇譚クラブだけは裸女に拷問される男、恥しめられるマゾ男の文章や繪を取り上げて下さいと新企画ですわ。読者はきつと欲しうしますわ

私も愛人を色んなこととして拷問して楽しんでますけど、この頃種々珍らしいことをたんと画入りで教えて下さいまし(サジズムの女・豊子)

○
編集部の皆様、新年号を早速お送り下さいまして有難うございました。過日の座談会に出席させて頂きました記事が、載つて居りますので、今更の如く汗顔の致りです。あの時は何をしゃべつていたかよく覚えていないほど楽しい時間でした。相当突っ込んだ発言もあつた筈ですがそれを或る程度編集部で伏せておられる御苦労がよく判ります。新年早々にまた一度機会を作つて下さい(京都河合)

○
兵庫KO氏へ。ベルギー展繪畫書はありますませんでした。真に残念です悪しからず。貴兄の耽溺せずに云々の御意見は全く同感です、今後ともよろしく。

○
僕も最も尊敬している画家、岸田劉生も。詩人山村暮鳥も(何でも彼でも右か左か変態として決めてしまわなければおさまらぬ人々の例に習えば)露フェティシズムです。然しそんなことで彼の芸術や人格をケイベツ出来ない。彼等はむしろ赤ん坊の様な純心さで芸術の神に堂々と捧げているではありませんか。変態など云うのは却つておかしい位純化し芸術の域まで高めているではありませんか。変態々々と変態にとどまつて居るのは只自分で自分を縛りつけてウジウジしてい

るに過ぎないのです。これは余りに長く変態について罪悪観念に悩みぬいて来たから言いたいのです。勿論、矛盾もありましよう、しかし一つの線は失いたくありません。ゴヤもレンブラントもルーベンスもパスキンもゴッホも普通ではないしかしそれを一々ほじくり出して、変態だ変態だと神経を失はして一体何になりましようか、彼等は堂々としています。ちつとも気にかけていない。皆さん、普通ではないといつても、一体普通とは何でしょう。もつと伸びくと朗らかに生きようじやありませんか。ルーベンスの「りやくだつ」の名画を見てごらん下さい、ちつともいじけた所がない。地上のあらゆる力強いものを吸い込んだ様な美しく若い二人の男が馬上から二人の女をさらおうとしている。その女達もピチピチと純白の肉体を陽光にさらして争ひ合つて居る。陰鬱な感じは全くない、ほゝえましくなる様な楽しさです。身内の引締まるような力強さです。サジズムの昇華された境地です。キューピットさえ馬の首にしがみついてニツコリ笑つて居るではありませんか。では又。

○
(東京・黒井生)

○
「奇ク」誌にはアブニストの「人に云えない悩みが満ちています。悩みを告白するだけで一応気の済んだ方も居られましよう。読者通信によつて悩みを解決出来た人も既に居られる筈です。してみるとある一面から見ると本誌の存在は人だすけでもあるワケです。さて、私にも悩みがあります。夫が肺病で悩んで居られる奥さんや、家庭や社会的環境が厳格で孤闘を守らざるを得ない未亡人、さてはイ

ンボの夫を持つ女性の苦しみ等々。当然ザラにありそうなのに「奇ク」誌に一向現れて来ないのは、女性の控え目、謙讓の美德でしょうか。又私の如く病妻抱えて何年もの男性の悩みも余り見ませんね。私には生来の潔癖性から、金で自由になる女性など汚らしく(事実汚いのですが)一向食指が動きません。そこで丁度誰かの如くオナニでごまかす他はなく従つてノーマルな刺戟では満足出来ず、勢いサディステックな刺戟を求めることに相成るワケです。唯、理性の力によつて余り進行しないよう抑制しています。ですから女性を苦しまたり鞭撻を加えたりすることは余り好みません。まあ、ノーマルでもなし、さりとてアブニストに徹底もせず(テツテイすることには社会的破滅に至ること自明の理です)さあ一寸ワサビのきいた趣味でしようねいかにして悦虐の形を演じ、女性に苦痛を与えず、歓喜に胸を打ちフルワセるか、と云ふことは考へて居ます。

○
私と同じ悩みの男性方や、私に同情して下さいる女性との文通を望みます。(神戸・勝田太郎)

○
縛つた男子ヌード写真、めずらしい企てです。是非発表して貰わねばなりません。そうした男子責めの場を映画に撮影して座談会で映写発表等の催は如何でしょう、皆さん。カメラマンとしての協力は惜しみませんが。

○
大阪の庄司様、お便り出したのですが出来れば返事下さい。(兵庫・双葉生)

○
本欄に対する御投稿をお待ちします。原紙用紙でなくとも便箋で結構です。係

新時代の風俗雑誌
刊 奇譚クラブ (定価百円 送料共)

(第七巻第一号) 二月号発売中

他に類例のない異色ある編集、古今東西に亘つた豊富な内容、前衛的風格を持つた唯一の風俗雑誌奇譚クラブは真摯な編集陣の努力と熱狂的な読者の支持によつて此処に齡七年を迎え、今や確固不動の揺がざる基盤を作り上げました。

直接購読予約会員の激増により、読者による読者のための雑誌という本来の目的に向つて邁進することが出来るようになりました。今後号を追うて益々充実発展、以て愛読者の御期待に副いたいと思ひます。

○奇譚クラブの旧号(バックナンバー)は左記の通り在庫してあります。

- 三月号 変態集団特集号(童少)
- 七月号 女天下時代特集号
- 八月号 責めと男色特大号
- 九月号 倒錯の告白特集号
- 十月号 切支丹迫害史特集号
- 十一月号 宗教刑罰戦慄圖譜
- 十二月号 懲罰の愉快特集号

右は送共九十円にてお送りします。一、二、四、五、六月号は品切となりました

二十八新年号は送共百円にて急送します。各月号の詳細目次は最近号に発表してありますから御覧下さい。

○直接予約購読者へは毎月厳重荷造の上書店発売前に発行所より読者へ第二種郵便にて直送致します。

○KK通信第一号品切、第二号第二四号は若干残部があります。

レッド・ルーム

赤い部屋

(一)

山城 一男

私は五十男です。妻も子供もありません、現在無職ですが、どうか生活して行くだけの蓄えもあり、私だけの異常な生活に満足して暮して居ります。

私の身上をくどくど書き立てるのも読者の方に見れば退屈なことと思われ、現在の私の変わった生活をお話して見ることに致します。

私の家は山手の淋しい一軒家、六畳の居室と四畳半の板張りのルーム（私はこの部屋をレッドルームと呼んでいます。夜になると赤い電燈をつけるのです）と扉一つ隔てた浴室と便所、それだけの間取りしかない簡単な家です、炊事も六畳の部屋で致します。庭は十坪余り、裏は雑木林で前は庭の垣根の形ばかりの門が下り坂の道に通じています。

此の家には私の他に二十になる娘が居ります。此の女が私の性生活の奇妙な対象であることは御推察の通りである。

三年ばかり前に自殺未遂のころを私が引き取って育てた女で、小柄の肉すきのよい娘です。私の対象となつてからまだ一年程しか経ちません。彼女の過去については何も聞かないこととして居りますので、申し上げることはありません。私はミチコと呼んでいます、いずれ機会を見て結婚させてやるつもりですが、いろいろと説明すればきりがないので最近の模様を書いて御参考に致します。一昨日、私は此のミチコを四畳半のレッ

ドルームに呼び、部屋の中央に置いたテーブルの上に坐せました。午前六時頃だつたと思います、赤い電燈をつけて、「ミチコ、期間は三日間だが、いゝね」私はミチコにこう云いました、三日間すべて私の自由になること、厭なら三日後にこゝを出て良いという意味を持つて居ります。ミチコはまだ若いのですが、妙に私の生活に生き甲斐を感じているらしく、今まで家を出たことはなく、苛酷な私の待遇をいつも待ち望んで居ります。

「お願いしますわ。」

ミチコは答えると、視線を膝に落して少し赫くなりました。

私は、彼女の上衣を脱がせ上半身を裸にすると、用意した一条の麻紐で後手に縛り上げました。そして口を開かせて手拭を噛ませ、更にその上から厚い革のマスクで覆い、緊く頭の後で結びました。そして耳の穴に綿を詰め、両眼の上を絆創膏で貼り合わせると、もうミチコは、これから三日間自分の意志を失つたも同然です。

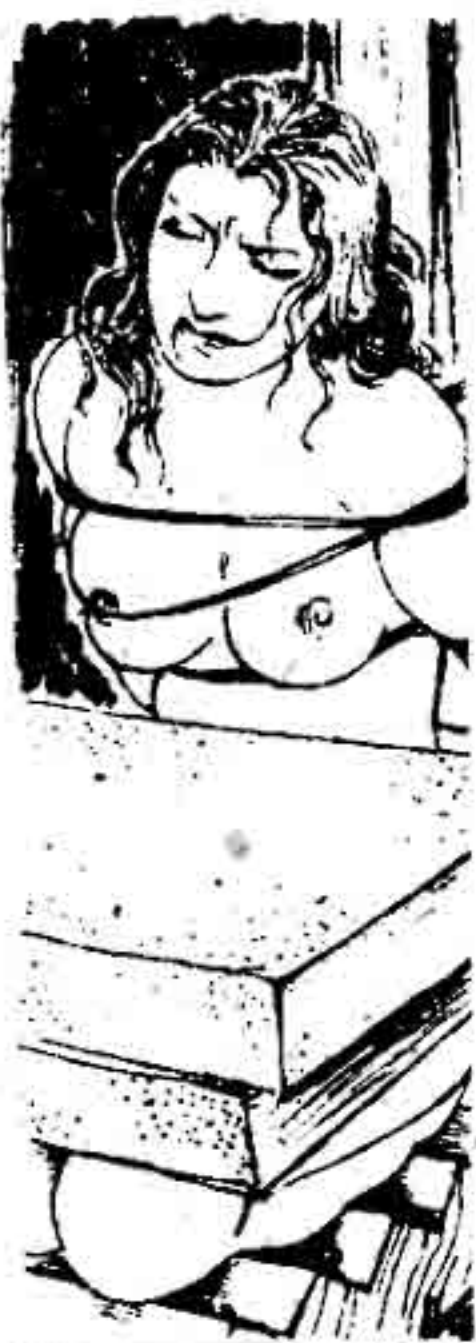
こうした色んな責め道具は、部屋の隅の戸棚に入れており、レッドルームには責めるために必要なあらゆる設備を整えてあるのです。此の部屋で私の自由になつた女はもう今までに十人を越えるでしょう。

私は宣告を終えるとミチコをテーブル

に横倒し、スカートとパンティを脱がせて彼女を丸裸にし、部屋の隅の責め柱まで背負つて運びました。そこで彼女を後向きに立たせ、足首と、膝との二ヶ所を縛つて柱にゆえ、後手の両手をくつと上に吊り上げて首を巻き柱と結びつけます。私はいつも用いる軍隊用のベルトの改造した鞭で、ミチコの臀部を打ち据えました。五十回も打ち続けると彼女は小用を洩しました。それから百回も打ち続けると尻を股間に挿しはさみました。

ミチコの臀部と足はどろろに濡れ、尻の処々の皮が破れて血が滲み出すと、彼女はぐったりとなつて柱と結ばれた縄に全身の重みをかけます。

彼女は一時苦痛の為に失心した様でし



喜多玲子さんへ

時代物に手をつけられて御健斗の由まことに嬉しく思います。何れ面帖第二編を手にし身をふるわせて喜ぶる日のあることを秘かに期待して鶴首しています

晴雨氏は尊敬に値する人ではありますが親愛感がわかない。貴女は優雅さに加え手折らば折れん風情を如実に示されるセックスアップルに接近感と親愛感を生じさせる。貴女の数々の文と画は深刻な感銘を与え強烈な魅力は偉大な牽引力を以て読者を引きつづてゆきます。

貴女の悦ぶの記録を読んで随喜満仰の最高峰を歩んだ私は又KK通信の「責めと私」の魔力的な魅力の綱にひつかかり呻めき悶えています。その末文に「皆様

た。私は柱からミチコをはずすと抱いて浴室に連れて行き、下半身を洗い、臀部にメンソレータムをすり込んでやりまし、もう十一月の末でもありましたので水で尻を洗つた時、彼女の全身は鳥肌立ちました。しかし尻だけは、真赤に充血して、ほてっていました。

私は彼女を再び抱きレッドルームの刑台（縦一メートル、横八十センチ程の机ですが）に載せ四肢を二たんほどいて大の字型に仰向きに縛ります。

刑台の四隅の下に犬の首輪が取り付けられているので、それに四肢を差し込んで締めるだけで良いのです。

私は戸棚から、とき立てのよく光つた剃刀を持ち出しました。（以下次号）

のうちにハートナーを得たかつたのですけれども……ア、これは大変な思わせぶりの殺し文句で読者は完全に参りました。ハイ、確かに半殺しにされました。貴女はなんと心憎いワンダフルな人でありましょうか。

新年号の口繪、吊り下げられる女は実際ぞつとせられました。私が貴女を心ゆくまで責めてみたいという悲願を立てたのも無理からぬことだと思ひになります。せんか。如何です。怖いでしょう。貴女を裸にして荒縄で高小手に縛り上げ大きな鉄製の檻に入れて、羞恥と苦痛とに身悶えしている貴女を現在半殺しにされている読者達が集つて檻の外から竹の棒でつついたり、叩いたり、貴女はきつと身もよもらぬ声で泣くでしょう。

又私は貴女を裸にして大きな鎖縁に納めて美術館に出品して……ア、七色、の虹が見えてきた。現在半殺しの程度の私ですが丸殺しになるまでは大分間が

あるようですから大いに貴女に注文致します。

本誌新年号口繪の吊り下げられる女、椋鳥、縛つた女を描く等、いつもながら素晴らしいものですが、六十六頁の淫火の挿絵の女の容姿は実に美しく特に眸はサムシクを物語るような此の姿態は苦でなく苦しみの中の深い楽しみを更に強く欲求し尚強烈な責めを求めて止まない表現に見えてうつとりとさせられる。

この絵と口繪吊り下げられる女のうち中腰であえいでいる分とを一つの絵にして次回にでも描いて下さい。私には画の道はわかりませんが大衆の欲する画がほんとうの画だと思ひます。貴女の画はピチピチと生きた躍動を表現されていて恍惚境へ誘ひ込む。新年号口繪写真の縛つた女を描くの、和服の方は貴女の片鱗ではありませんか。次回のKK通信で答えをお願いします。（玲子画帖限定、八四の男）

◎お答え◎

至らないわたくしに大変なお賞めの言葉を賜り穴へでも入りたい気持、でも実際は嬉しいんです。お礼申し上げます和服姿はわたくしかどうかは貴方の御判断におまかせしますわ。（玲子）

原稿募集

○読者の告白文
体験談性歴
を募る○

「奇ク」をお読みになられる方なれば、変つた経験の一つや二つはおありだと存じます。文章の巧拙等は問いませんから御遠慮なくドン／＼お寄せ下さい。会員諸氏の分は優先的に掲載の上、薄謝を呈します。



読者論壇

一支持者より

東京 伊能 国臣

であるが、それならば大衆受けのする映画だとか捕物だとかの娯楽雑誌を作った方がもつと分がよいのではなからうか。私は此の場合「商業意識の鋭さ」と云う営利一辺の見方ではなく、編集者の勇気と信念の強さとを同志の人々に貰うて貰いたいと考える。

私は「商略」に対する「お客」の立場ではなく「信念」に対する「支持者」としての立場を希みたい。営利一辺倒で失敗した東京のS堂等の例を考えて見ても「支持者」を得るには「商略」のみでは如何ともない筈である。

私は編集者の人格は知らないけれども読者としての立場から考えると、相当な傑物である事は察しられる、恐らく一つの方向に徹する場合には、支持者もある代りにまた一方よりの風当りも強くなることは当然であつて、その点だけを考えても他の何の変哲もない娯楽雑誌を作っている編集者の方がうんと気が楽であらうことは論をまたない。戦後軟派物の雑誌は随分出版されたが、此の種の風俗誌

居るから、奇譚クラブが一つのものに編集の方向を定めてからの読者であるとも云えるかも知れないのだが、莫然とした大衆を目的とした雑誌が比較的多い中にこれほどの一貫性を持った風俗誌は珍らしいと思つてゐる。伊藤晴雨氏が新年号の本誌に「商業都市に住む人の商業意識の鋭さを示すもの」だと云つて居られるが私はそうは思わない、晴雨氏の云い方を極言すれば「商人の商略」だと云うの

は殆んど見られなかつた様に思う(尤も私自身にしても、今まで奇巧を知らなかつた位だから、他にあつても見落してゐるのかも知れないが)のである。これは恐らく東京方面でも企画されたに違いないのだから、之を持続して行くだけの勇氣と才能が無かつたのだらう、始めから算盤を弾いては出来ない相談である事が此の点でも明らかである。

記事及内容について一言云わせて置かうならば、私は今一歩高踏的な表現の仕方がのぞましいとも思う、読者はどちらかと云えば狙いの関係から云つても、ミーチャンハーチャンでは無い筈である。むき出しの表現よりも隠された表現の方が、文章や繪画の世界ではいつの場合でも余情が残る、感興が深いものであると信ずる故に。

さて居る岡田咲子さんの名を書いてないのは如何した訳ですか、そして前記二冊にも同女史の消息も随分變遷を以て音沙汰なしであるのは何かあつたのですか

松井鏡子、喜多玲子、岡田咲子の三女史三脚足の上に奇巧の大衆性を支え活躍中の一人が消息なしであるのはまことに淋しい。KK通信作者便りにもない。読者の魅力をもてなさないように御返信を次回にでも御掲載を乞う。(T・K生)

三日月ばかりロケに行つておられましてその為執筆不能に陥り折角御期待下さいました読者の方々に大変御迷惑をおかけ申しました事は申訳なかつたと思ひます。最近になつて、やつと歸つて来られましたので目下執筆をお願い中でありまして、次号三月号あたりには同女史の快心作を掲載出来ることと存じますので、悪しからず御諒承の上、従前に増しての御愛読を御願ひ致します。題は確か「愛難記」(或る女の告白)であつたかと記憶して居ります。(保)

編集部へ物申す



十一月号新年号の各巻末編集方針について、に各々係の人の宛名がありますがその中に愛難記及続等を発表して読者の血を湧かし尚小説を出して其の後期待

代理部だより

縛られた女の写真・分譲

光沢面 焼付五枚一組(一集分)二百円 印刷紙 (送料共)

○第五篇(四十一集より五十集迄) 十集

○第六篇(五十一集より六十集迄) 十集

○第七篇(六十一集より七十集迄) 十集

○以上各集共一集分各々五枚一組です

集を重ねることに充実発展して参りました本誌特得の縛られた女の写真は、愛好者の間に大好評を博しまして、優秀なコレクションとしての役目を果して参りましたが、其後引続き猿轡や道具を用いたもの、鎖にて縛つたもの等を発表、その特異な緊迫迫の雰囲気は見る者をして恍惚境に誘ひ込んで居ります。

今回は更に読者待望の各種の吊り下げられた姿態の撮影を敢行し、壓倒的な人氣を得て参りました。また御覧になつて居られない方はお早くお注文下さる様お待ち致します。

吊し責の三態

特選焼付写真 三枚一組

キヤビネ版 五百円

此れは今迄一度も発表しなかつた事のない、とつて置きの各種の責め姿態中、最も興味あるものを選びました。御申込次第厳重荷造の上急送致します。一組あり

★襲われる女★

十二枚一組五百円(送料共)

此れは暴漢に襲われる美少女の恐怖の姿態を鎖と鎖をアクセサリに用いた得難い作品です。(シリーズ十二態)

◎縛られた女を描く 写真集

本誌新年号の口繪に発表しました写真集の御希望の向きには御申込次第増しの上御送付申し上げます。

キヤビネ版、四枚一組三百円(送料共) 三組計十二枚あります。

◎鎖を纏つた女◎

豊富な白磁のような女体の肌を喰ひ入つたくさりの鎖し出す微妙なコントラスト、鎖を纏つた女体の美しさを追究してこゝに五枚一組の写真一組完成しました

第一組(五枚一組) 二百円(送料共)

第二組(五枚一組) 二百円(送料共)

◎待望の第七篇愈々分譲開始!

愛好者の御期待にそむかないため従来の御批評を総合して満を持して居りました写真部が奮起一番、口繪写真とは全然別の観点より腕によりをかけて撮影しました極めてバラエティに富んだ逸品揃いでありまして、御申込をお待ち致します。

◎第七篇(六十一集より七十集迄) 十集

本誌直接購読会員募集

奇譚クラブを毎月確実に書店販売前に入手される為には直接購読会員におなり下さると御便利です。KK通信を無料贈呈の他景品贈呈の特典があります。(KK通信のみの送附を望まれる方は半々年分実費百円で直送致します)

○三月分(三冊) 三百円
○半年分(六冊) 六百円
○一年分(十二冊) 千二百円
送料共
品 半年分買得られる女の写真三枚一組
景 一年分 八枚一組



地獄絵 (3) 行田和子

悪魔の手に捕えられた、私と未娘の君子の前に、重造はニヤニヤ笑いながら近づいて来ました。

重造のニヤニヤ笑うその顔のいやらしさ、君子はきつとあの後でこの男の為に最後のものを奪われてしまったことでしょう。悪魔の顔には征服の喜びと満足感が淫らにあふれているのでした。

「君子ッこつちへおいでッ」

先刻の様に狼狽はされていなかったたので、私は君子を呼びながら必死になつて背後にかばおうとしました。しかしそれも非力な女の身で、この荒々しい男にどれ程の抵抗が出来ようか、まして先刻の責め苦に疲れ果て、いる上に、高小手に縛られていてはどうすることも出来ないのです。いつそ一思いに舌でも嚙んで死んでしまおうか、とも考えるのですが、私一人の苦痛はそれで救われるかも知れませんが、君子と君子の二人はどうなることでしょうか。それを考えると一人死ぬことも出来ないのです。たゞたとえ数分でも早く、この悪魔の手から逃れられる様に、来ませぬ救いの手を待つことだけが私たちの運命なのです。

「フツフツッ。君子と云う名かい、可愛い顔をしてるぜ。ヘッヘッ、姉嬢もい、膚をしていたが、おめえも、ぼちやぼちやして可愛いじゃねえか。」

救いの手どころか悪魔の触手は眼前に迫つて来ました。

「け、けだものッ娘にさわつちや、いけないッ!! あつ、誰か来て下さい。助けて助けて!!」

私は、必死の声を出して絶望的な救いを求めました。だが重造は平然として私達母娘を見下してうそぶくのです。

「フツッ。いくら大きな声を出しても人に聞える処じゃないぜ、向うの部屋で姉嬢をなぐさんでいる若い奴等を、なおさら興奮させる様なもんサ。エヘヘヘ」

嗜虐的な色慾に頬を酩く引きつらせて笑いながら重造は、私の膝に顔を埋める君子を引き連れ、私を床の間の柱の前に無理矢理すわらせて、動けぬ様に縛り付けると、また先刻のように狼狽をはめてしまいました。そして君子に向つて

「君ちゃんとか云つたなア、エヘヘ。おとなしく俺の云うことを聞きなさいや何もひでえなことをしなさい、そのかわりもし、云つた通りにしなさいや、こうするんだ、いゝか。よく見ときな」

こう言うと、私の着物の双肌をグイグイと引き脱がせて、喫つていた煙草の火を胸と云わず、背中と云わず、顔と云わず無茶苦茶に押しつけるのです。

「ううッ……。ムムッ、ヒーン」

突き刺す様な熱さに、思わず呻き声を

洩らす私の姿を見て君子は縛られた身を駆け寄つて来ました。

「あッ、お母さまッ。いけない、いけないッそんなひどいことしないでください。お母さまを慮めないで!!」

「……」

君子は、眼に一杯涙をためて重造になすきました。母親の私に加えられる苦痛を救うべく、十八の君子は悪魔の思う通りに身をまかせようとするのでした。



重造はそう云つて君子の縛を解きました。

「だがな、そのまゝじゃつまらねえ。裸にならなよ。まっばだかになるんだ!!」

「あッ……」

君子の子供じみた顔がきつと赫くなつて、次の瞬間には見る／＼蒼白に変つてゆきました。私は、どうかして君子に裸になることを止めさせようと身を隠えるのでした。が狼狽の下からはたゞ呻き声だけがでるだけののです。重造は、君子や私を裸にしようと思えば、君子にした様

短信往来



▲一俣志津子さんが愈々二月に華燭の典を挙げられるので目下未来のハズと各地旅行中とかで一向に原稿を送つて来ないので編集部から矢のような催促をする、もう少し待つて、その中に新婚の思い出の濃厚なを送るから、には一同ダア! で二の句がつけず、

▲この所、男性の方からの責めのモデル志望者が殺倒、編集部を慌てさせているが、どうもネ、責められる方より責める方が大分過激な労働でして、流石のスパーマン染田玄もいさゝかグロッキーなんです。悪しからず、その中に頑張ります。との言、

▲お客さんから頂いた原稿用紙が三十枚程しかありませんので書けるだけ書いて送ります。生れてこの方ハガキの文句より長い文章を書くのは殆んど今度が初めてですので読みづらい事と思ひますが適当に御判読下さい。と女囚私刑体験記の小坂多美紗さんからの続篇、中々どうして文章も内容も立派なもの、住所を明かにされないのが残念。

▲住所不明といへば、月号のトップに妖花を書いて気焰を吐く羽村京子さん、依然として住所を明らかにされないで連絡に困つています。片便りではどうも頼りがなくつて……。イヤどうも、